



Shaker, Bird & Teddy Set

毎回異なる動き（回す、押す、たたく）を通して、原因と結果の関係を体験します。結果を予測する力、手先の細かな動きを調整する力、音や表情を感覚を通して探る活動を支えます。

内容

おもちゃ3つ

対象市場

家庭・教育の両方

■ セットの内容



Magic Shaker

13.5 × 5.5 × 12 cm



Crazy Eyed Bird

9.5 × 9.5 × 15 cm



Roly Poly Teddy Bear

9.5 × 8.5 × 12 cm

■ 子どもが学ぶこと



原因と結果

回す、押す、たたく。3つの違う動作に、3つの確かな結果。予測はここからはじまります。



手先の器用さ

シェイカーを両手で回し、鳥の目を指先で動かし、テディを手のひら全体で押しします。



目で追う力

シェイカーの仕切られた空間から別の空間へ流れるビーズや、揺れながら中央に戻るクマなど、目で追いやすいゆっくりとした動きです。



言葉

上、下、入る、出る、もう一度、止まる。鳥の表情が、うれしい、悲しい、びっくりを誘います。



感情リテラシー

鳥の目を動かすと、さまざまな表情が生まれます。お子様はその表情をまねたり、どんな表情が言葉にしたり、見て笑ったりできます。



社会性

テディを友だちのほうへ押すと、ゆらゆらと戻ってきます。この行ったり来たりする動きを通して、赤ちゃんも順番にやり取りする遊びを楽しめます。

■ ひとつのセットで5年間遊べる

6～9か月

ビーズが落ちるのを目で追い、テディをたたいて揺れるのを見る

9～18か月

わざとシェイカーをひっくり返し、テディを押して戻のを待つ

18か月～2歳

鳥の目を動かして表情をまね、テディを友だちに向けてたたく

2～3歳

動作の前に、何が起こるか予想し、鳥の気持ちを言葉にする

■ はじめの日に試す



流れるのを見よう

6～12か月・シェイカーをゆっくり回してビーズを流し、お子様が落ちていくビーズを目で追えるようにします。



ゆらゆら戻る

6～15か月・テディを倒して、揺れて戻のを見ます。子どもも押すのを待ちます。



表情をつくろう

12か月～3歳・鳥の目を新しい位置に動かし、一緒にその顔をまねします。

■ テーマ

原因と結果

表情と気持ち

上と下

入れる・出す

音

順番を待つ

